

ルピナス 230



藤野地区パークゴルフ大会

第120号

令和6年11月15日(金)

民生委員・児童委員とは、地域の立場にたつて相談に応じる、「地域の身近な相談相手」です。民生委員・児童委員は非常勤で特別職の地方公務員であり、生活上のさまざまな心配ごとの相談に応じ、その内容に合わせて必要な支援が受けられるよう地域の専門機関に「つなぐ」役割を担っています。

ただし「つなぎ役」であり、専門職ではありませんので、具体的な生活支援や金銭の取り扱いを伴う支援を行う立場にありません。

主任児童委員とは、子どもや子育てに関することを専門に担当する児童委員です。担当区域を持たず、学校や児童委員と連携しながら子育て支援や、児童健全育成活動などに取り組んでいます。

現在、藤野民児協は、民生委員児童委員27名（白川地区含む・約300世帯に1名）主任児童委員2名（藤野地域）の構成で活動中です。札幌市民児協からの依頼により活動しています。

藤野地域の独居宅は令和6年8月末現在553件、毎月平均320件声かけ・見守りを実施しています。訪問対象者は70歳以上の方です。令



地域の身近な相談相手「つなぎ役」、活動する民生委員児童委員協議会
(略・民児協)

藤野地区町内会連合会

副会長 星野 数夫

和2年度から北海道警察南署（生活安全課・交通課）と連携し特殊詐欺防止へ官民でスクラム・高齢者見守り声かけ訪問毎年九月に3から4地域を選定して訪問。主な活動として70歳到達の方に札幌市からのお知らせなどの資料をお渡ししています。役立つパンフレットや支援機関やサービスの紹介など。見守りが必要な方には、申し出を頂き、緊急連絡先をお伺いしています。ご協力を宜しくお願い致します。

皆様方にもお願いがあります。

令和7年度は、3年任期で改選時期になります。年齢制限があります対象者は75歳未満の方で「たすけ上手・たすけられ上手」が目標に委員の基本は「つなぎ役」地域住民の寄り添った活動をしてまいります。是非民生委員児童委員になり（人の為・自分の為に）一度経験してみませんか。お待ちしております。

各単町会長から声かけが、有りましたらお話しを聞いて頂きたく宜しくお願い申し上げます。問い合わせ先、藤野まちづくりセンターへ。

藤野地区民生委員・児童委員協議会
会長 星野 数夫

藤野
ふるさと
まつり

観客、出演者一体となって

祭

第三十一回藤野ふるさとまつりが令和六年八月三日（土）、十五島公園で行われました。好天に恵まれ、会場には大勢の人が訪れ、待望のまつりの一日を存分に楽しみました。

藤野ふるさとまつりは、藤野地区町内会連合会、藤野地区社会福祉協議会、藤野中央商工振興会で構成される実行委員会が主催し、札幌市、藤野地区青少年育成委員会、藤野地区交通安全運動推進委員会の後援で開催。藤野に住む人たちの親睦の輪がさらに広がるように、また、日頃から文化、体育活動に携わっている人たちのよき発表の機会となるようにと、六月半ばから準備を進めて来ました。

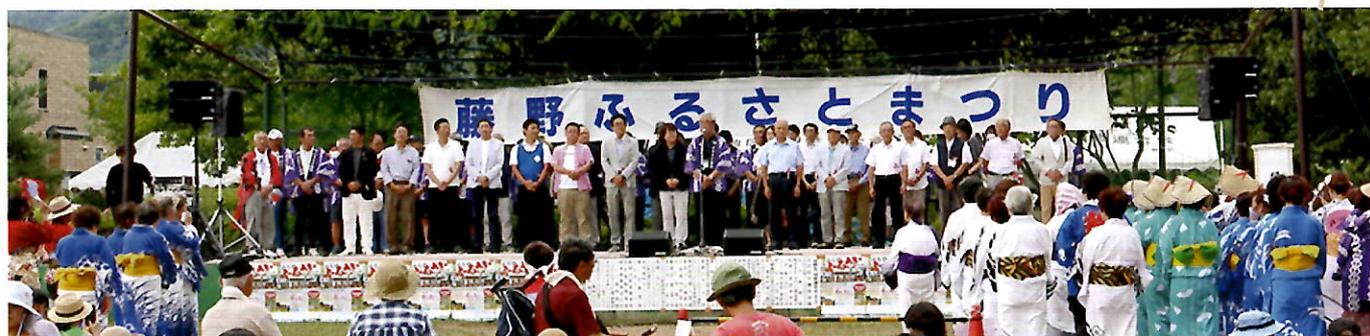
午前九時に実施予告の花火が上がり、会場の設営や出店の準備も急ピッチで進められました。十二時五十分に十三町内会百四人の踊り手が藤野音頭に合わせて会場に練り込みました。ステージ上には、来賓はじめ町連役員、各町内会長、各団体役員、議員、学校関係者、社協の役員らが並びました。今年も設営、運営にボランティアとして参加してくれた道立

札幌南陵高校の十七人の生徒さんも登壇しました。

岩崎一則副実行委員長（藤野中央商工振興会会長）が開会宣言、実行委員長の吉田健治藤野町連会長が主催者挨拶、大谷聡美南区長が来賓挨拶を述べました。

ステージプログラムのトップバッターは藤野小学校六年生二十人によるよさこい演舞で、元気いっぱい練習の成果を発揮しました。次に南区の三つの小学校（藤野、澄川、藻岩南）の合同スクールバンドの演奏に、声援と拍手が送られました。会場には続々と来場者が訪れ、プログラムもダンス、空手演武、舞踊へと進みました。今回のゲスト演奏は、四人組のロックバンド「THE FIFTEEN ISLAND PARK（ザ・ファイフティーン・アイランド・パーク）」が迫力ある演奏を披露しました。最後は藤野太鼓保存会が、ステージパフォーマンスを締めくくりました。

この後は、お楽しみ抽選会、納涼盆踊り大会、子ども盆踊り、お米が当たる抽選会が行われました。



オープニングセレモニー 藤野音頭パレード 各町内会踊りグループ



藤野小学校6年生 よさこい演舞



お手伝いに来てくれた南陵生と集合写真



南区スクバン連合（澄川小・藤野小・藻岩南小）



カトレア会



紅花会



フジノアロハフラ



南陵高校 RAI



藤野空手サークル



彩生流 蘭佳会



わかば会



蘭佳会ジュニア



マカナノアロハフラサークル



和太鼓演奏 藤野太鼓保存会



THE FIFTEEN ISLAND PARK



お楽しみ抽選会



お米が当たる抽選会



盆踊り



令和六年度 藤野地区
パークゴルフ大会

令和六年度藤野地区パークゴルフ大会（藤野町連主催）は九月八日（日）、南区砥山の八剣山パークゴルフ場で開かれました。大会には四十二人（男子二十四人、女子十八人）が出場し、快晴の絶好のコンディションの中、36ストロークプレーで熱戦を繰り広げました。男子は廣島啓造さん（西藤野）が95で優勝、女子は森谷博美さん（西藤野）が99で優勝しました。

男子は稀にみる激戦だった。先にホールアウトした昨年の覇者・阿部清治さんと一昨年の優勝者の井上昭さんがクラブハウス前で「感想戦」を交わしていた。スコアは共に98。スコアが同じ場合は年齢が上の人が上位となるのがルールだ。「プレーオフをしよう」と軽くジャブを放つ阿部さん。そんな舌戦を交わしているときに中津精祐さんが同じく98で飛び込んできた。「これはまだ分からないな」と井上さん。

その歴戦の強者（つわもの）のカンが的中した。廣島啓造さんが95



吉田会長を中央に男女の1～3位



井上さんと優勝した廣島さん(右)

で、三人を一気に抜いてトップに躍り出たのだ。

廣島さんも昨年のこの大会では阿部、井上さんに続く3位に入った実力者だ。今回、運営本部では組み合わせに一工夫こらした。同じ町内会同士にならず、幅広く親睦を深めてもらおうと、シャツフルを心掛けた。その廣島さんの優勝の弁。「調子はよかったです。回るメンバーと楽しくプレーできましたしね。それで、リラックスできたと思う」と勝因を解説した。西藤野町内会の前会長。町内をまとめてきた気配りの人だ。

パークゴルフを始めたのは八年前。中学、高校までは野球に打ち込み、五十歳まではゴルフに熱中した。「パークゴルフはクラブ一本だから」と、軽く見ていたが、いざやってみると「はまってしまった」という。「奥が深いですね」と繰り返した。し烈な争いはまだまだ続きそうだ。

※以上、敬称略
が上位
同スコアの場合、年齢が上の人

【女子】

- ①森谷 博美 (西藤野) 99
- ②関 初恵 (西藤野) 100
- ③室谷 妙子 (富士見) 102
- ④阿部 幸子 (緑 町) 102
- ⑤武永 明代 (西藤野) 102
- ⑥石原東亜子 (第一) 107
- ⑦斗澤 敦子 (富士見) 110
- ⑧斎藤 京子 (東藤野) 110
- ⑨廣島 和子 (西藤野) 110
- ⑩末武 典子 (第一) 114

【男子】

- ①廣島 啓造 (西藤野) 95
- ②中津 精祐 (緑 町) 98
- ③井上 昭 (野々沢) 98
- ④阿部 清治 (緑 町) 98
- ⑤末武 雅志 (第一) 103
- ⑥斗澤 剛 (富士見) 103
- ⑦吉田 忠雄 (高 台) 104
- ⑧斎藤 茂 (東藤野) 105
- ⑨武永 均 (西藤野) 105
- ⑩山本 晃功 (緑 町) 106

大会成績

高齢者宅訪問

藤野地区民生委員・児童委員協議会（星野数夫会長）は九月十一日（水）、一人暮らしの高齢者宅の訪問を行い、特殊詐欺への警戒や交通安全への注意喚起などを行いました。

民児協と道警による高齢者宅訪問が始まったのが令和二年で、今年五年目を迎えました。訪問件数の累計は百五十件に達しています。今回訪問したのは藤ヶ丘西、中央、本通の三地区十六人のお宅。

オレオレ詐欺について生活安全企画課の担当者が具体的な説明を行いました。また、交通課からは外出時の行動で注意すべきことを話し、反射シールなどを配布しました。

訪問を受けた人たちは「警察の方から直接話を聞くことができうれしかったです。また、交通事故に巻き込まれないように気をつけたいと思います」と話していました。



藤ヶ丘南で 防災訓練



消防車を見学

藤ヶ丘南町内会（星野数夫会長）の防災訓練が九月二十八日（土）、そよ風公園で行われました。約四十人の参加者は消防署員から災害時の対処法や防災用品の使用方法などを熱心に学んでいました。

同町内会の防災訓練は今年で三回目を迎えました。令和四年に同公園に防災倉庫が完成したのを機に、町内会としての本格的な防災訓練が始まりました。防災倉庫には多種類の機材が備えられ、カギは役員が管理していきというときに備えています。

訓練では、折りたたみ担架を組み立てたり、発電機を始動させたり、消火器の使い方を学ん



消防署員の説明を聞く

だりしました。消防署員からは「大規模な災害があった場合、消防が即座に対応できないこともある。そのときは町内会で対応してもらわなければならない」と訓練の意義について話していました。また、星野会長も「百一年前には関東大震災があり、今年には能登の大地震や大雨災害があった。災害に対して不断の備えをしておかなければ」と一段と気を引き締めていました。



消火器を試す



担架の訓練



発電機を動かす

藤ヶ丘西で 防災研修会

藤ヶ丘西町内会（佐藤悦子会長）で十月二十八日、藤ヶ丘センターで防災研修会を行いました。冒頭、佐藤会長は「自分だけは大丈夫と



思ったときに危険。また自分ばかりでなく周囲にも気配りを」と、防災意識の向上と広がりをお訴えしました。

研修会では、札幌市防災協会事務局次長・防災士の野村政司さんの講話があり、藤ヶ丘西地区の災害リスク、日頃の備えはどうあるべきか、災害が起きたときに避難することもある避難所を運営するための基礎知識について教えていただきました。

この後、3つのグループに分かれて、避難所運営の方法をカードを使って学ぶHUG（ハグ）に取り組みました。

会場にはファミリールーム（テント）、簡易トイレ、非常食、各種防災グッズが展示され、非常食の炊き込みの試食もあり、実り多い研修会を終えました。

チョイソコふじのーるに 新停留所

デマンド交通「チョイソコふじのーる」に九月三十日から、運行区域が広げられ、新たな停留所が増えました。

増えたのは全部で藤野など三地区五カ所で、藤野地区が藤野三区会館（藤野六条四丁目十）、藤野六条四丁目（同六条四丁目二十四。ゴミステーションが停留所）の二カ所です。このほか、石山地区のザ・ビッグ石山店、簾舞地区の簾舞六条二丁目とミソマップ会館です。

「ふじのーる」は昨年九月から実証実験が開始され、地域の足としての定着を目指しています。

チョイソコふじのーるの予約は、
☎050・2018・7225（平日8時～16時）



藤野地区文化展が 開催される

第二十七回藤野地区文化展（藤野地区町内会連合会主催）が九月七日（土）、八日（日）の両日、藤野地区センター一階アリーナで開催されました。出品された作品は、いずれも丁寧な制作過程がうかがえる力作ぞろいで、会場を訪れた人たちは熱心に鑑賞していました。

今年寄せられた作品は、六十五人から六百五十二点。ジャンルは多彩で、絵画、書、写真、絵手紙、魚拓、陶芸からパッチワークやタペストリーなどの布や革などの手工芸や装飾品、アートフラワーなどが展示されました。



写真や絵手紙のコーナーも

押し花を出品したのは公平由美子さん（藤野一五会）。構図を練り、採取した花を乾燥させ、空気を抜いて密封してと、手間のかかるもの。押し花のインストラクターを

目指していたころの思い出の3点を、娘さんと鑑賞していました。



文化展に出展した公平さん

会場には今年六月に急逝された木下美代子さんの遺作コーナーも設けられました。布あそびと題し



木下さんの遺作コーナーの前に立つ伊東文化部長

て、端切れなどを活用して壁掛けや子どもやひな人形、小動物にのみがえらせました。伊東文化部長は「木下さんに教えてもらった人是大勢います。木下さん自身、今年の文化展に出したいと思っていたので残念です」と話しました。このほか会場では「三区町内会では初めて出していた。うれしいです」（伊東部長）ユニット折り紙（くす玉）もユニークな作品でした。村田みさきさんの指導で三十数個のくす玉が並び、来場者の目を引きました。

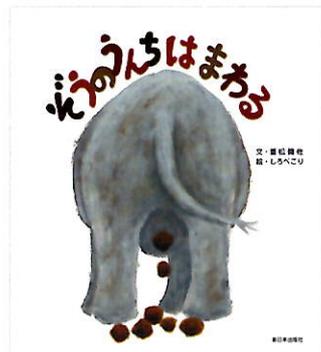


展示の数々。左がユニット折り紙



藤野在住の児童文学作家、重松彌佐さんが札幌市円山動物園のゾウを題材に、絵本「ぞうのうんちはまわる」を出版しました。同園のSDGs（持続可能な開発目標）への取り組みをユニークな視点から取り上げた作品です。

同園には四頭（執筆時。現在はタオが生まれて五頭）のアジアゾウがいますが、一日のうんちの量はなんと四百キロにもなります。このうんちがバイオ発酵処理機で堆肥になり、市内の農家や小学校に配られています。堆肥はナウマンゾウの化石が発掘された幕別町の虫類小学校にも送られ、できあがったカボチャが、円山動物園のゾウたちにプレゼントされています。循環していくぞうのうんちを通して、SDGsが身近に感じられる作品になっています。



新日本出版社 1,540円

ふじの子育てサロンフェスタ開かれる

ふじの子育てサロンフェスタ（同実行委員会主催）が十月五日（土）、藤野地区センター・アリーナで開かれました。会場には大勢のお子さんと保護者が次々と訪れ、支援員の人たちとともに、会場に取り揃えられた遊具などに夢中になっ



て遊んでいました。子育てサロンフェスタは地域の子育て世帯の支援、応援を目指して、藤野地区の八つの子育てサロンが連携・協力し、また関係機関の支援を受けての開催です。

当日は百三十四人の来場があり、各コーナーが設けられて、思い思いに楽しんでいました。赤ちゃんコーナー、工作、おもちゃ、ボールプール、魚つり、ブランコ・滑り台、お楽しみステーションの遊び、ボードビルなど（てんとう虫）。



その他、保健師による肌水分チェック、地域の方によるハンドマッサージと盛りだくさんでした。ビッグイベントの「忍者やヒーロー」では子どもたちが大喜びで、動きをマネする幼児も見受けられました。

今回はパパさんの参加が多く見られました。子育て中のお母さんからは遊具がたくさんあり会場内が広くて子どもが思い切り遊んでいます、またスタンプも多く気配りも行き届いていて安心ですとの声をいただきました。

来場者には食生活改善推進員の手作りクッキーをお土産として用意しました。あつという間に子どもたちと過ごしたサロンフェスタも無事楽しく終わりました。（福まち子育て支援活動班）

班長 佐藤悦子

元気フェスタ開催

「藤野いきいき元気フェスタ」が十月十八日（金）午前十時から、藤野地区センターアリーナで開かれました。健康寿命を伸ばしてもらおうと毎年行われている啓発活動ですが、今回は、健康講話・体操として、ラフター（笑い）ヨガティーチャーの角川郁子（すみかわいくこ）さんによる指導が行われました。



ヨガの呼吸法に「笑い」を取り入れたラフターヨガは、年齢、性別などを問わずできる運動。角川先生の指導で、参加者全員が、楽しく取り組むことができました。

その後、血圧測定、握力測定、肌水分量のチェック。会場には認知症パネル展、食と栄養コーナー、フレイル・認知症チェック、相談コーナーなどがあり、各担当者の説明に、熱心に聞き入っていました。

藤野地区センター文化祭

第三十三回藤野地区センター文化祭が開かれました。十月十三日（日）正午からは同センター利用の八サークルによるステージ発表が行われました。また、十九日（土）、二十日（日）には、十一サークルによる作品展示発表会が行われました。



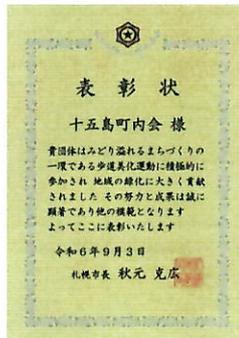
山口千那さんによる篠笛演奏

気功練功十八法の披露

十三日に行われたステージ発表会では、オカリナ演奏、フラダンス、日本舞踊、演歌体操、ヒップホップダンスなどが披露されました。また、気功練功十八法の演武もあり、入会を呼びかけていました。特別演奏として、山口千那さんによる篠笛演奏があり、篠笛用に作曲された「松風」や「里

の秋」「元禄花見踊り」などの調べに聞き入っていました。作品展示発表会では、キルト、織、編み物、押し花、フラワーアレンジメント、絵手紙、陶芸、絵画など多彩な作品に見入っていました。

十五島町内会 花壇で表彰



札幌市のみどり豊かな潤いのあ... 審査方法は花壇製作に対する熱...

中央区 幌西第15分区町内会... 受賞者名(敬称略)

- 豊平区 豊平第11分区町内会... 手稲区 新発寒第一町内会

秋の交通安全運動

秋の交通安全運動の最終日となつた九月三十日(月)、藤野地区町内会連合会などの主催で、街頭啓発を行い、ドライバーらに安全運転を呼びかけました。



参加したのは藤野町連の各町内会のメンバーはじめ藤野地区交通安全運動推進委員会、藤野地区交通安全会母の会の百二十人。藤野地区センター前の国道230号の両側に並んで、スピードダウンなどと書かれた黄色い旗を掲げて、交通安全を呼びかけました。

日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただいた社資によって支えられています。今年度も引き続き皆様のご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



日本赤十字社北海道支部 マスコットキャラクター「アンリー」

編集後記

今回のルピナスでは、藤野町連の最大のイベントである「第三十一回藤野ふるさとまつり」はじめ、スポーツイベント、文化展、防災訓練など幅広い活動を紹介できました。いずれの催しの現場でも感じたことは、運営に当たる人、参加する人に一体感があることで、取材も楽しいものでした。



身の回りで風邪が流行っています。季節の変わり目は体調を崩し易く、原因は自律神経の乱れ。要因は様々ですが、その乱れに効くツボの一つが「内関」。両手首の内側にあるしわの真ん中から、ひじ方向に指3本分下がったあたりに、響くような感覚があれば、そこが内関です。乗り物酔い、めまいにも効きます。(宮川)

- 発行人 吉田 健治
編集人 渡部 徹
印刷所 仙北 英治
連絡先 〇一一五九三〇一二五